

先進教育の推進

タブレットを使った授業が始まりました！

問い合わせ 学校教育課 指導係(☎内線 439)

本市では、「GIGAスクール構想」にいち早く呼応し、児童生徒1人1台のタブレット端末を整備しました。これにより、日々の授業で写真、動画の撮影やインターネットの利用、タブレットによる発表などの学習が可能となりました。

より一層子どもたちの学ぶ意欲を高めながら、一人一人にあわせた学習がより深められるよう、また、コロナ禍のなかでの休校や不登校などへも柔軟に対応できるよう、タブレット端末などのICTを積極的に活用していきます。



タブレット端末を使った授業の様子

市民サービスの向上

市役所玄関前に証明写真機が設置されました

太宰府市役所でも証明写真が撮影できるよう、証明写真機を市役所正面玄関西側に設置しました。

マイナンバーカードのオンライン申請にも対応していますので、市役所に来庁の際はぜひご利用ください。



市役所玄関前に設置された証明写真機

市民の安心安全が第一

新型コロナウイルスワクチン接種シミュレーションを実施

すでにワクチン接種がスタートしましたが、開始前に綿密な集団接種シミュレーションを行いました。

会場には医療従事者をはじめ、自治会の方々、会場スタッフ、市職員など、多くの関係者が参加し、事前にしっかりと確認を行い課題を抽出しました。

より安心安全にワクチン接種を受けていただけるよう、関係者一丸となって真剣に取り組み、現在のスムーズなワクチン接種の実現につながりました。



接種シミュレーションを行う職員と市民スタッフ

大学・企業との連携

ルナ・プロジェクト始動！

コロナ禍で生活消耗品の購入に困る学生の声を受けて、筑紫女学園大学と大賀薬局、市が協力し、生理の貧困に苦しむ女子学生をサポートする事業を行いました。

この取り組みは、コロナ補正予算「心温まる7つのサポート」の中核「生活困窮者支援活動団体等支援事業」を活用したもので、楠田市長は筑紫女学園大学を訪問し、本事業の交付決定通知書を交付しました。

さらに、本市では本プロジェクトの一環として、保有する災害備蓄品を活用し、市内小中学校へも生理用品の無償配布支援を行います。



生理用品を配布する学生スタッフ

まちのトピックス

市民の活躍 令和記念展が開催されました

令和元年の慶びの日から5月1日で2年を迎えたことを祝い、大宰府万葉会(松尾セイ子代表)主催による「令和記念展～令和万葉の世界を楽しむ～」がプラム・カルコアで開催されました。

会場には、太宰府市民遺産として認定されている「万葉集つくし歌壇」の普及に努める大宰府万葉会所有の写真や万葉衣装、万葉集の梅花の歌の序文をはじめとする万葉の句の掛軸、市内小中学生の万葉をテーマとした絵画などが展示されていました。



万葉会所有のたくさんの展示物